



令和6年12月25日

各 位

会 社 名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 秋山 昌之
(東証スタンダード・コード番号 2796)
問 合 せ 先 取締役 沼田 豊
(TEL. 03—3362—7130)

令和7年5月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想
の修正に関するお知らせ

令和6年6月28日に公表した令和7年5月期第2四半期(中間期)(令和6年6月1日～令和6年11月30日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、同日に公表した通期(令和6年6月1日～令和7年5月31日)の連結業績予想についても修正いたしましたので、併わせてお知らせいたします。

記

1. 令和7年5月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異(令和6年6月1日～令和6年11月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 中間純利益 又は純損失 (△) (百万円)	1株当たり中 間純利益又 は純損失 (△) (円)
前回発表予想(A)	30,539	483	428	31	2.77
実績値(B)	30,544	100	29	△113	△10.09
増減額(B-A)	4	△382	△399	△144	—
増減率(%)	0.0	△79.1	△93.2	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和6年5月期第2四半期)	26,948	710	701	273	28.29

2. 差異の理由

売上高につきましては、調剤薬局事業における処方せん応需枚数が当初計画に及ばず伸び悩んだものの、処方せん1枚当たりの薬剤料が想定より上昇したこと、在宅・施設調剤の獲得及び技術料算定強化の施策等によって処方せん単価が上昇したことにより、当初予想を上回りました。利益面につきましては、処方せん応需枚数が当初計画に及ばなかったことに加えて、医薬品仕入環境の変動に伴う原価の上昇を主な要因として売上総利益が減少、つれて経常利益並びに親会社株主に帰属する中間純利益についても、前回発表予想を下回りました。

3. 令和7年5月期通期連結業績予想の修正（令和6年6月1日～令和7年5月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 又は純損失 (△) (百万円)	1株当たり当 期純利益又 は純損失 (△) (円)
前回発表予想(A)	60,880	949	804	40	3.63
今回修正予想(B)	64,734	350	143	△214	△18.98
増減額(B-A)	3,853	△599	△661	△255	—
増減率(%)	6.3	△63.1	△82.2	—	—
(ご参考) 前期実績 (令和6年5月期)	54,466	916	833	△351	△33.41

4. 修正の理由

売上高は、令和6年12月2日に完了したM&A（事業譲受）に伴う店舗の増加により、前回発表予想を上回る見込みです。利益面につきましては、第2四半期（中間期）連結の業績予想値との差異の影響、処方せん応需枚数想定の見直し、医薬品仕入環境の変動に伴う原価の上昇、並びにM&A（事業譲受）に伴う費用増加等により、当初予想を修正いたします。

※上記業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上